

# 東北メディカル・メガバンク機構の ワーキンググループ体制と検討事項

## 地域医療支援WG

地域医療への貢献や循環型医師派遣体制の構築について検討中

2012年4月9日より2週間おきに開催

## 倫理・法令WG

倫理と法令、特に包括同意書の具体的な内容や問題点、さらに、セキュリティについて、外部有識者も招きながら検討中

2012年3月8日より毎週開催

## 連携・広報WG

地域・自治体などとの連携の構築および積極的な広報のあり方について検討中

2012年3月1日より毎週開催

## 電子情報統合WG

地域電子情報基盤とメガバンク情報基盤の統合について、また、情報の流れと情報量、さらに、情報セキュリティについて、外部の方も招きながら幅広く検討中

2012年3月1日より毎週開催

## ゲノム・オミックス 解析戦略WG

ゲノム解析とオミックス解析の手法や戦略について、外部有識者にも相談しながら検討中

2012年3月13日より2週間おきに開催

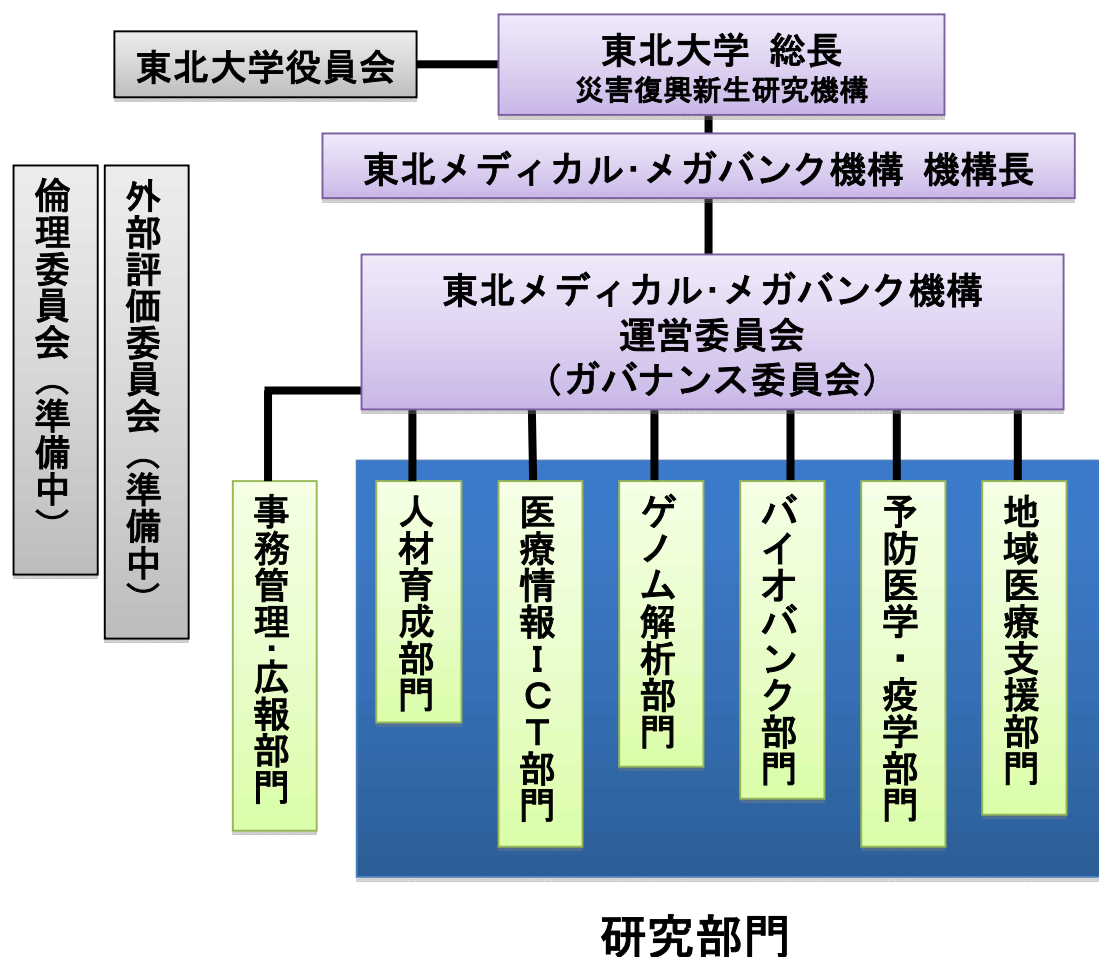
## ゲノムコホート連携 推進WG（準備中）

## バイオインフォマティクス 検討WG（仮称、準備中）

これらのWGには、今後外部有識者を広く、積極的に招聘する予定である。また、今後も、必要に応じて新たなWGを立ち上げて行く予定である。



# 東北メディカル・メガバンク機構 組織図



精密な検討が必要な多くの課題が存在するので、下記のようなワーキンググループ (WG) を立ち上げて、検討中である。今後、外部有識者を招いて、さらに充実させる予定である

地域医療支援WG、倫理・法令WG、連携・広報WG、電子情報統合WG、ゲノム・オミックス解析戦略WG、ゲノムコホート連携推進WG (準備中)、バイオインフォマティクス検討WG (準備中)、他

## 各部門の役割

**地域医療支援部門**：被災地住民・自治体・医療機関と緊密な連携体制を構築し、地域医療の充実を通じて本事業への理解と関心を育む

**予防医療・疫学部門**：地域保健支援事業を継続実施するとともに、3世代と被災地住民をそれぞれ対象にしたゲノムコホートを確立する

**バイオバンク部門**：コホートで得られる血液・尿等の生体試料を一括保管し、サンプル提供者の健康および検査情報とサンプル解析情報をリンクさせてデータベース化するとともに、公平なガバナンスに基づく分配も担当する

**ゲノム解析部門**：コホート参加者のゲノム解析とオミックス解析を推進し、体質と環境の相互作用が発症に関連する疾患についての解析を実施するとともに、疾病発症に関与する遺伝的リスク因子を同定し、ゲノム解析に基づく個別化予防と個別化医療推進の基盤を作る

**医療情報ICT化部門**：安心安全でシームレスな医療福祉の提供のために、医療情報ICT化と地域医療連携基盤の形成を支援する。同時に、同基盤をコホート参加者の効率的な追跡とデータ管理に活用する

**人材育成部門**：本事業を推進するためには、新しいタイプの医療人の養成が急務である。東北大学大学院を活用して、このような医療系高度職業人を養成する (後段参照)

**事務管理・広報部門**：本事業の推進には充実して積極的な広報が重要であり、これに取り組む (後段参照)